

トミコの週末ガーデニング

文: 富山昌克



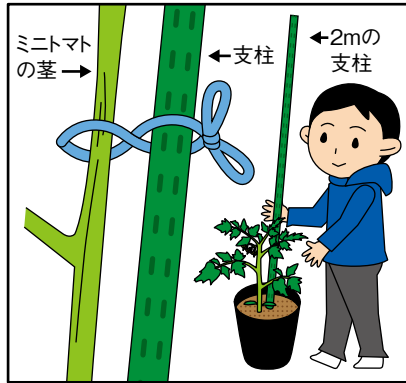
はじめてのミニトマト②



栽培手順

4月号の「植え付け」の続き 支柱立て

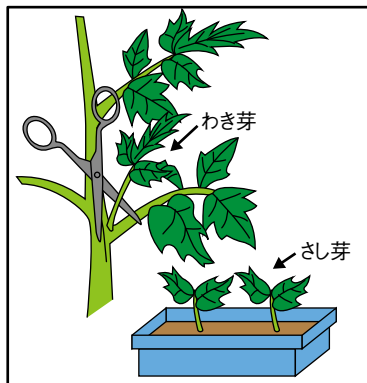
草丈が40cm以上になると倒れやすくなるので、長さ2mほどの支柱を、土にしっかりと立てます。支柱と茎をひもで8の字形に結びます。



茎は太くなるので、支柱側はしっかりと結び、茎側にゆとりをもたせます。(鉢のサイズ: 直径30cm、高さ30cm)

わき芽かき・支柱への誘引

葉のつけ根からわき芽が出てくるので、すべて摘み取ります。わき芽かきと、伸びた茎の支柱への誘引作業は、毎週1回必ず行いましょう。大きく伸び過ぎたわき芽は、ハサミで切り取ります。別の鉢や畑にさしておくと、簡単に発根してそこから芽が伸びます。

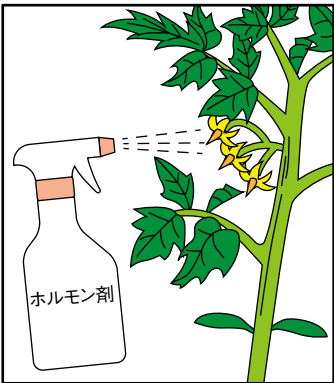


やや長く成長したわき芽をさし芽にすると、2週間で根づきます。

ホルモン処理と人工授粉

1つの花房に2、3花が開花した時期に、市販のホルモン剤の100倍液を花房全体に散布します。散布すると、タネが無い果実になります。

ホルモン剤が手に入らない場合は、筆などで花の中心をなで、受粉を促します。こちらはタネがある果実になります。



2度かけると、果実がいびつな形になるので注意。

追肥(水やり代わりの液肥やり)

コンテナ栽培の場合、どうしても土量が少ないため、水やりの代わりに1000倍液の液体肥料を与えると生育がよくなります。

畑の場合、第1花房と第3花房の実が大きくならぬ頃を目安に2回追肥をし、その後は生育を見て行います。

鉢の場合は、鉢サイズに適した緩効性化成肥料を施し、固まった土を耕し、土寄せ、敷きわら(ウッドチップでも可)などをします。

収穫・摘心

本葉の7、8枚目に1番目の花房をつけ、以降は本葉2、3枚ごとに、6〜8段くらいまで花房が付きます。

開花から約40日で収穫できます。完熟後放置すると味が落ちていくので早めに収穫しましょう。朝採りが一番甘くなります。上手に育てると、1株で150個ほど収穫できます。

草丈が伸び、管理が難しくなったら、最終花房の上の葉を2枚残して、先端をハサミで切り(摘心)、成長を止めます。必ず行う必要はありません。

病害虫の対策

アブラムシ防除には2倍に希釈した牛乳を散布します。シヤガイモにも多く寄生するため、シヤガイモ畑の近くでは発生が多くなることもあるので注意しましょう。

コラム

■トマト嫌いを克服!

トマトに練乳をかけるといち口味になるのをご存じですか? 練乳がなければ砂糖でも代替可能です。

野菜嫌いなお子さんには是非一度食べてもらってください。酸味が少し足りませんが、一瞬イチ口味をたん能できます。



■ダイエットにはトマトジュース?

17年前の私の体重は、今より20kg多く80kgありました! 執筆活動を夜食とともに行っていたツゲが体重増加という形として表れていたのです。

当事一念発起して、炭水化物の量を減らし、代わりにトマトジュースでお腹を満たす「トマトジュースダイエット」に取り組み、3か月間で20kgの減量に成功しました。

トマトジュースの合間に、作ったミニトマトを頂くと、歯でかみ締める安心感も得られます。この夏、是非ミニトマトを作ってみましょう。トマトに含まれるリコピンには、抗酸化作用があり、若返りの効果もあります。